

学校体育の充実を図るため、体育・スポーツの専門的・技術的な調査研究を行いました。

★令和2・3・4年度調査研究テーマ
「共生を基盤とした
体育の授業づくり」

The main image shows a classroom or gymnasium where a teacher is standing and speaking to a group of students sitting on the floor. The teacher is wearing a dark shirt and trousers. The students are wearing casual clothing. In the foreground, the back of another student's head is visible. To the right, there is a circular inset image showing a close-up of a teacher's face. The teacher is wearing a dark suit, a white shirt, and a patterned tie. They are also wearing a white face mask. The background of the inset image shows wooden paneling.

A photograph of a conference or meeting. In the foreground, two men in dark suits and white shirts are seated at a long table, facing the camera. They are both wearing white surgical-style face masks. Behind them, a woman in a light-colored blazer and white shirt is seated, also wearing a face mask. The background consists of a wooden wall and a large pillar. The entire image is framed by a thick red border.

断続研修

年12回の研修を通して、自分と児童生徒の将来に役立つ授業づくりや学校保健活動の研究を進めていこう！

【保健体育研修講座】

(最新の知見を学び、授業に活かします)

自分の授業が変化しました。子ども達が楽しみながら前向きに笑顔で過ごす時間が増えました。

「受講して良かった」の一言につきます。研修・授業・講義を通して、価値ある時間を過ごすことができました。

【養護教諭研修講座】

(実態を踏まえ、熱心な討議が行われます)

他校の保健室を見る機会が少ないので、授業参観がとても有意義でした。

一人一人の手技を丁寧にご指導いただきました。質問もしやすい環境で、毎回深い学びができます。

The first photograph shows a teacher in a black jacket standing in front of a whiteboard with Japanese text and illustrations related to basketball rules. The second photograph shows a teacher in a white polo shirt pointing at a whiteboard with Japanese text and diagrams. The third photograph shows a teacher in a white polo shirt pointing at a large screen displaying a video of students playing basketball.

青報がいっぱい!
検索!

福岡県体育研究所

検索



易合

Page 1



Fukuoka
Research Institute of
Physical Education

〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2丁目1番4号
(福岡県立スポーツ科学情報センター内)
TEL:092(611)0220 FAX:092(611)1747
ホームページ <http://www.taiikukenkyusho.ed.jp>
E-mailアドレス taiikukenkyusho@pref.fukuoka.lg.jp



設置目

- 、本県体育・スポーツの現状

基本刀

- わたる豊かなスポーツ＝
カリキュラムの開発支援

○国及び
い情報

- を収集することともに、子
査研究の充実を図り、そ

○学校体
図る研

- 保健体育及び健康教育に

基本

- ## あなたのキャリア の実践力・専門性を

1

- 卷之三

さらに詳しへ！

基本研修

短期研修

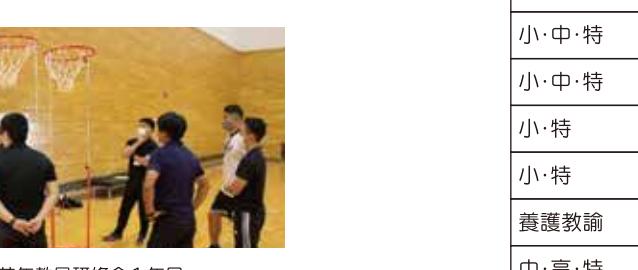
断続研修

長期派遣研修

教員の使命と職責の重要性を踏まえ、教員が絶えず研究と修養に励む機会を提供するとともに、その職責の遂行に努めることができる資質・能力の向上を図ります。

《令和5年度基本研修(体育研究所関係分)》

小学校	○小・義務教育・特別支援学校 若年教員研修1年目
中学校	○中・義務教育・特別支援学校 若年教員研修1年目
	○中・義務教育・特別支援学校 中堅教諭等資質向上研修
高等学校	○県立学校等若年教員研修会1年目
	○県立学校等若年教員研修会2年目
	○県立学校等若年教員研修会3年目
	○県立学校等中堅教諭等資質向上研修会
養護教諭	○若年教員研修(養護教諭)1年目
	○若年教員研修(養護教諭)2年目
	○若年教員研修(養護教諭)3年目
	○中堅教諭等資質向上研修(養護教諭)
新任保健主事	○小・中・義務教育・特別支援学校 新任保健主事研修



【受講者の感想】

低・中・高学年それぞれの指導法を学びました。コロナ禍で水泳授業がなかったため、子どもの実態に合わせ、苦手意識を持たせず、楽しいと思える授業を考えています。(若1研修・小学校)

心肺蘇生法とAEDの使用法を学んだ。実技を行ったのは初めてで良い経験になりました。適切な手順で行うこと、絶え間なく心肺蘇生を続けることが重要であることを理解しました。(若1研修・中学校)

授業の中で共生の視点を考慮したり、男女共習を原則として授業づくりをすることを学びました。生徒の実態に応じて授業改善や工夫をしていきます。(中堅研修・高等学校)

児童生徒の心身の保健増進のために、養護教諭として学び続ける姿勢を持ち、知識・技術の習得だけでなく、コーディネート力やマネジメント力等も磨いていく必要を痛感しました。(若3研修・養護教諭)

《令和5年度 専門研修(短期研修)講座》

対象	講座名	期日	講師
幼・小・特	「運動的な遊び・運動遊び」	6.30	岐阜大学 教授 春日 晃章
小・中・特	「表現運動・ダンス」	7.4	筑波大学 准教授 山寺 由美
小・中・特	「器械運動」	7.6	宮崎大学 教授 三輪 佳見
小・中・特	「保健の授業づくり」	7.7	東海大学 教授 森 良一
小・特	「体つくり運動」	7.12	筑波大学 准教授 三田部 勇
小・特	「体育の授業づくり(理論・実技)」	7.26	帝京大学 教授 高田 彰成
養護教諭	「新しい時代における養護教諭の役割」	7.28	愛知教育大学 名誉教授 後藤 ひとみ
中・高・特	「陸上競技」	8.2	国士館大学 講師 陳 洋明
小・中・高・特	「特別支援学校・学級でも活用したい体育の授業づくり」	8.3	東海大学 教授 内田 匠輔
小・中・高・特	「共生の視点に立った体育学習の進め方」	8.4	横浜国立大学 教授 梅澤 秋久
小・特	「体育の授業づくり(実技)」	8.24	国士館大学 教授 細越 淳二
小・特	「ゲーム・ボール運動(ネット型・ベースボール型)」	8.25	立命館大学 教授 大友 智
小・中・高・特	「健康教育」	9.12	横浜国立大学 教授 物部 博文
中・高・特	「球技の授業づくり」	10.3	日本女子体育大学 准教授 須申 理生
中・高・特	「スポーツの本質を考える体育理論」	10.4	東海大学 教授 大越 正大
養護教諭	「学校における救急処置」	10.6	まえだ整形外科 博多ひざスポーツクリニック 院長 前田 朗 九州大学病院眼科 医師
中・高・特	「体育の授業づくり(理論編)」	10.12	福岡教育大学 教授 本多 壮太郎
小・中・高・特	「体力向上の方策」	10.17	西九州大学 准教授 松本 大輔
小・特	「体育の授業づくり(小学校公開授業講座)」	10.20	日本体育大学 教授 白旗 和也
中・高・特	「体育の授業づくり(理論編)」	10.27	桐蔭横浜大学 教授 佐藤 豊
養護教諭	「養護教諭が行うフィジカルアセスメント」	11.10	岡山大学 教授 松枝 瞳美
教職員・一般	「パフォーマンス向上とスポーツ外傷予防のためのコンディショニング」	11.30	国際武道大学 教授 笠原 政志

実践的かつ専門的な内容について年間を通した研修を行い、学校や地域において活躍できる人材を育成します。

《令和5年度 保健体育研修講座》

豊かなスポーツライフにつながるための授業づくりや授業評価方法の理解についての講義・演習のほか、受講者の主題に基づいた研究構築について検討します。また、運動の楽しさを実感できる授業づくりや授業参観を通した授業分析の方法や本県の体育・スポーツ行政等を理解する講座を設定します。

回	研修内容
1	・授業研究の進め方、これからの体育科・保健体育科授業の在り方について理解する
2	・保健教育について理解を深める
3	・新学習指導要領の趣旨、考え方を理解する
4	・研究構想を明確にする
5	・専門研修(短期研修)講座「養護教諭の資質向上」を受講し、専門的な知識・技能を身に付ける
6	・学校組織において求められる養護教諭の役割についての理解を深める
7	・授業づくりの方法等を理解する
8	・検証方法等を理解する
9	・代表授業研修を通して授業分析の力を高め、授業づくりについて考える
10	・事例検討を行うことにより、事例の理解と支援の在り方について理解を深める
11	・本県の体育・スポーツ行政を理解する
12	・研究発表及び一年間の研修の総括を行い、成果と課題を明らかにする



《令和5年度養護教諭研修講座》

多様化・複雑化する健康課題の解決に向けた関係機関や家庭、地域との連携・協働のあり方について学ぶとともに、学校保健活動を組織的に推進するマネジメント力を身に付けるため実践的・専門的な研修を設定します。

回	研修内容
1	・養護教諭に求められる役割と保健教育の在り方について理解する
2	・新学習指導要領の趣旨、考え方を理解する
3	・研究構想を明確にする
4	・専門研修(短期研修)講座「養護教諭の資質向上」を受講し、専門的な知識・技能を身に付ける
5	・学校組織において求められる養護教諭の役割についての理解を深める
6	・授業づくりの方法等を理解する
7	・検証方法等を理解する
8	・代表授業研修を通して授業分析の力を高め、授業づくりについて考える
9	・本県の体育・スポーツ行政を理解する
10	・研究発表及び一年間の研修の総括を行い、成果と課題を明らかにする
11	・研究発表及び一年間の研修の総括を行い、成果と課題を明らかにする
12	・研究発表及び一年間の研修の総括を行い、成果と課題を明らかにする



1年間集中して体育・保健体育及び健康教育に関する研究を行い、次世代を担う教員としての資質・能力を高めます。

《過去3年の長期派遣研修員研究テーマ一覧》

年度	研究テーマ	校種	氏名
令和4年度	「運動遊びを楽しむ子供を育てる低学年体育学習指導」 -思考を促す発問を通して-	小	小田 珠樹 (嘉麻市立嘉穂小学校)
	「体育自己効力感を高める保健体育学習指導」 -ルートマップを活用した学習活動を通して-	中	立石 哲平 (八女市立立花中学校)
令和3年度	「運動やスポーツとの多様な関わりを実践できる生徒を育てる保健体育学習指導」 -動きを可視化する活動を通して-	高	隈本 真 (福岡県立中間高等学校)
令和2年度	「自他の『伸び』を実感できる生徒を育てる保健体育学習指導」 -段階のねらいに応じた対話活動を通して-	小	井口 清隆 (久留米市立上津小学校)
	「運動への関わり方を広げることができる生徒を育てる保健体育学習指導」 -目的に応じたupdate sheetの活用を通して-	中	鈴木 貴大 (大野城市立御笠の森小学校)
	「自他の運動の楽しさを大切にする高学年体育学習指導」 -学習者相互のフィードバックを位置付けた学習過程の工夫を通して-	高	小松 陽子 (福岡県立福岡城誠高等学校)
令和1年度	「運動する充実感を味わう生徒を育む保健体育学習指導」 -共生の視点を重視した「共有活動」を通して-	小	藤原 大輔 (大野城市立御笠の森小学校)
	「運動について深く考える生徒を育てる保健の学習指導」 -イメージマップを活用した学習過程を通して-	中	西崎 健哉 (糸島市立前原中学校)
	「健康について深く考える生徒を育てる保健の学習指導」 -イメージマップを活用した学習過程を通して-	高	大和 忠輔 (福岡県立北筑高等学校)

【1年間の研修を終えて】



体育研究所の長期派遣研修員として、体育科学習の専門的知識を数えきれないほど学ばせていただき、大変貴重な1年間となりました。この1年間を通して、次の3つを今後の教員生活で活かしていくといたいと考えます。「目標をつかみ計画を立てること」「子供の心で考えること」「先生方と楽しく学ぶこと」。この3つのことを軸に、今後も体育科学習を通して、笑顔溢れる子供を育てたり、たくさんの先生方へ専門的知識を伝えたりしていくように、終わりなき学びに取り組んできています。



「自分の実践に対する問題意識をもつこと」が、論文を書くことの第1歩」。4月にこの言葉に胸をつかれ、研究のスタートを切った日を今も鮮明に記憶しています。検証授業では、「教材との出会いせわせ」、「めあてに繋がる発問」、「学習評価」などこれまで気付かなかったことをたくさん勉強させていただきました。研修を通して、私自身の教科指導に関する自己効力感を高めることができたと自負しています。生徒が自信をもって学習に取り組むことができるよう、今後とも研究と修養に精進してまいります。



研究がスタートした当初、これまで授業に真摯に向き合うことができていなかったこと、教師として授業における軸をもつことができていなかったことに気付かされたことをよく覚えています。体育研究所で、多くの研修を受けることで保健体育科学習における最先端の学びに触れたこと、小・中学校の長期派遣研修員と共に学ぶことで指導方法や生徒の実態の違いを学び、12年間の系統性の大切さを知れたことが私の財産となりました。今後も学び続けることを止めずに、学校現場でそのまま研究と修養に精進してまいります。

講座を録画したDVDは貸出できます。(一部講座を除く)
お電話にてお問合せください。(092-611-0220)